

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 062	提案機関名 一般社団法人神奈川県養豚協会
要望問題名 多産系母豚の作出並びに生産された子豚の飼養管理技術の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 全国的に多産系母豚の導入が進められており、本県でも一部の養豚農家で生産性の向上を目的に多産系母豚や輸入凍結精液を活用し、産子数を多く生産させる事例が見られている。しかしながら、豚肉をテーブルミートで販売している本県の養豚農家の現状にあった多産系母豚や生産された子豚のテーブルミート用肉豚出荷への飼養管理技術が、いまだ確立されていない。 多産系母豚から生産された子豚の飼養管理は、産子数が多いためきめ細かい高度な技術が必要とされている。また、哺乳中の事故や人工補助飼料の必要性など養豚農家の経済的負担も大きい。 そこで、生産性の向上を図るため、本県のテーブルミート販売に適した多産系母豚の作出や生産された子豚の飼養管理技術について、経費の面も含めご検討いただき、多産系母豚の作出並びに技術の早期確立と飼養管理マニュアルの作成をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) ①系統豚を利用した改良型種豚の開発(H29～33)、②多産系母豚の飼育管理技術の確立(H29～31)			
対応の内容等 要望の内容に関連して、平成29年度から実施している上記試験①では、民間の持つ優良多産系種豚の情報収集に努め、種豚の精液等を用いて「ユメカナエル」との交配により、市場性の肉質評価が高く、かつ本県の飼養に適した改良型多産系種豚の開発に取り組んでいます。上記試験②では、多産系母豚を導入し、県の既存施設での飼育管理適正を確認したうえで、飼養管理の方法等について検討するとともに、県内で利用されているデュロック種の精液を活用し、得られた肉豚の肉質についての調査も予定しています。 また、既に民間で販売されている多産系母豚の中には給餌マニュアルがあるものもいるので、それらを参考に改良された母豚の飼養管理に対応していきたいと考えます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			